

2014年6月11日

「6秒ならスコセッシを超えられる！」



2014年3月9日、東京都内のカフェで二人の男が出会った。

ひとり、あの「アベンジャーズ」の監督ジョス・ウェドンが絶賛した映画「ハイキック・ガール」をつくった西冬彦。それに呼応したのはコンテンツ企画会社の福田淳。

この日、幼少期ブルース・リーに憧れた二人の中年が6秒動画のアプリ【Vine】を使ってアクション映画を撮ろうと意気投合した。

二人は共に48歳（1965年生まれ）。ティーンの時にブルース・リーの真似をして「アチャー」とかやっていた。

西 「マーティンスコセッシ監督の『ウルフ・オブ・ウォールストリート』は凄い傑作だった。俺にはあんな映画撮れないかもしれない」

福田「凄いけど長いよね。【Vine】ってスマホ世代にウケてる6秒の動画サイト知ってる？」
8mm映画と共に青春時代を過ごした二人は、【Vine】で繰り広げられる映像パワーに触発され自主映画魂に火が付いた。

「これならスコセッシを超えられる！」

考えてみたら、スコセッシだって21歳の時に自主映画で19分の短編を作ってる。

思い込んだら命がけ。初対面と思えないノリで、既にこの盛り上がりよう！（爆）



2014年3月9日 東京港区の喫茶店にて

そこから二人は毎日、毎晩膨大なやりとりをして、どうあるべきか議論した。「画角は？シネスコか正方形か？」「カメラはハイビジョンか GoPro かスマホか？」「シーンは、ワンシーンワンカットか細かくカット編集するか？」

はじめての出会いから1ヵ月後（4月13日）にクランクイン（笑）



たった6秒のために30人近い映画製作のプロスタッフ・スタント・キャストが結集！



そして、完成した6秒シリーズ（12本）を一本化した映像がコレ！

【ハイキック ゾンビ】

<http://highkick-zombie.jp>



監督：西冬彦



1965年12月27日生まれ。映画会社ギャガ・コミュニケーションズの元国際部（外国映画買付部門）部長。「少林サッカー」（興収28億円）、「わたしの頭の中の消しゴム」（興収33億円）などを買付け大ヒットに導く。現在は、日本から世界に通用する映画を送り出そうと制作サイドへ転身。プロデューサー、監督、脚本家、アクション監督とクリエイターとして幅広く活動している。

主演：人気モデル・青野楓



1992年11月21日生まれ、兵庫県出身。空手初段、講談社「With」レギュラーモデル、映画「ハイキック・エンジェルス」出演（2014）、佳麗宝・瑞麗カバーガールコンテスト グランプリ受賞

日本でトップクラスのスタントマンなど、6秒に命を吹き込むために30人以上のスタッフが本気を捧げた。

マーティン・スコセッシ監督を越えることはできたのか！？

© ソニー・デジタル エンタテインメント

■ハイキック ゾンビ

You Tube URL: <http://highkick-zombie.jp>

Vine URL : <https://vine.co/u/1069644122161373184>

■問合せ先

株式会社ソニー・デジタルエンタテインメント セールス&マーケティング部 木月

E-mail : marketing@sonydes.jp